

廃棄物のゼロエミッション活動の展開

廃棄物については、リサイクル率を目標に設定し、その維持・向上にグループ一体となって努めています。

2015年度の産業廃棄物については、発電所から排出される石炭灰の減少により、発生量は減少しましたが、リサイクル率は93%となり、目標である95%を下回りました。これは、リサイクル処理が困難な特別管理産業廃棄物の発生量が増加したことによるものです。

事務用品等については、環境負荷の少ない物品を優先して調達・購入するグリーン調達に努めています。

廃棄物の発生状況

産業廃棄物	発生量	単位	2013年度		2014年度		2015年度			
			会社数	実績	会社数	目標	実績	会社数	目標	実績
産業廃棄物	発生量	千トン	38	104.1	39	—	161.0	38	—	150.8
	リサイクル率	%		94		95以上			96	
古紙	発生量	千トン	48	0.9	47	—	1.1	46	—	1.0
	リサイクル率	%		91		93程度			97	

詳細は九州電力ホームページ

WEB 関連・詳細情報 (P2参照) >
産業廃棄物の種類ごとの発生量及びリサイクル量の実績 (グループ会社)

環境・リサイクル事業

九州電力グループでは、環境・リサイクル事業として、(株)ジェイ・リライツが使用済蛍光灯・乾電池のリサイクル事業を、記録情報マネジメント(株)が機密文書の機密抹消・リサイクル事業を実施しています。

記録情報マネジメント(株)は、文書・記録情報管理全般にわたる、きめ細かいサービスを提供する企業として事業拡大するため、2016年1月に九州環境マネジメント(株)から社名を変更しました。

2015年度は、九州電力グループの機密文書他を約1,500tリサイクルしました。

詳細は九州電力ホームページ

WEB 関連・詳細情報 (P2参照) >
環境リサイクル事業 (株)ジェイ・リライツ、記録情報マネジメント(株)



よかランプ(株)ジェイ・リライツ



認定証(株)ジェイ・リライツ



機密文書回収BOX
(記録情報マネジメント(株))

>>私の環境アクション

バッテリーの再生事業を始めました

九州高圧コンクリート工業(株)

ポール営業本部 はらぐち しんじ
原口 信二

当社では、従来使用後に破棄していたバッテリーの再生事業を展開しています。

バッテリー再生には専用の「バッテリー再生機(SOTO LAB)」を使用し、適切な電圧管理のもとバッテリー内部に特殊な波形の電圧を流すことにより、新品同様の製品に甦らせませす。

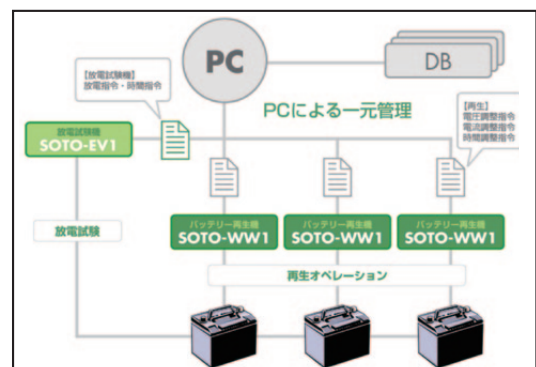
事業化においては、発電所や通信基地局の非常電源用バッテリーで再生試験を幾度も重ね、実用化に向けたデータを蓄積・分析しました。

また、ゴルフ場ではバッテリーを再生した電動カートに支配人と一緒に乗車し、敷地を一周することにより、お客さまと共にその再生効果を確認しました。

当社は、これから本格的な事業化に向け展開を進めていくとともに、バッテリー再生事業を通じて、破棄による有害廃棄物の発生や新たな製造に伴うCO₂の排出を抑制することにより、環境負荷低減や循環型社会形成に貢献していきます。



バッテリー再生システムの構成



用語集をご覧ください

>>循環型社会

>>ゼロエミッション

>>リサイクル率

>>産業廃棄物

>>石炭灰

>>グリーン調達